

科目ナンバリング		U-LAS01 20012 SJ38							
授業科目名 <英訳>		ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール I Introductory Seminar on European Social History I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 福元 健之	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(各論)			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
本演習では、前半で邦訳された史料を、後半でその史料に関連する良質な日本語の研究書を読む。今年度は、ヨッヘン・フォン・ラング編（小俣和一郎訳）『アイヒマン調書——ホロコーストを可能にした男』を前半のテキストにし、アイヒマンという具体的な個人から、ナチズムやホロコースト、ユダヤ人の歴史について議論する。そして、後半では、教員が作成した関連文献リストから一つ専門書を選んでもらい、各受講者による専門書への批評をもとに議論する。									
[到達目標]									
西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、史料を歴史学的に分析する方法の基礎を身につけ、また自らの考えを言語化できるようになる。									
[授業計画と内容]									
1. イントロダクション									
2. アイヒマンとは誰か？									
3～8. 史料を読む ヨッヘン・フォン・ラング編（小俣和一郎訳）『アイヒマン調書——ホロコーストを可能にした男』を精読する。六部構成の当該文献を毎週一部読み進める。担当者は、該当箇所のレジュメを作成し、報告・問題提起を行う。それを踏まえて、出席者全員で議論する。									
9～14. 指定された関連文献を批評する 史料を読んでえられた知識を、良質な日本語の研究書の読解を通じてさらに深める。受講者は、指定された文献から一つ選び、その本の内容と問題点をレジュメにまとめ、報告する。									
15. フィードバック									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
報告の内容、演習中の発言、出欠状況をもとに、平常点で評価する。									
[教科書]									
ヨッヘン・フォン・ラング編（小俣和一郎訳）『アイヒマン調書——ホロコーストを可能にした男』（岩波書店、2017年）ISBN:9784006003678（入手方法については、別途初回に説明します。）									
----- ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールⅠ(2)へ続く↓↓↓									

ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールⅠ(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、決められた文献を読んだうえで出席することが前提となる。また、報告担当者は、レジュメを作成し、それに基づいて報告を行う。他の出席者からの質問に答えられるように、分からないところも調べてくることも求められる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]